

塗装施工科修了 (2014年)
 あべ ひろき になった ゆうき
阿部 浩樹さん(写真左) 新田 裕希さん(写真右)
 有限会社ティーケー塗装 (仙台市)

「もともとクルマの塗装に興味がありました」と話す阿部浩樹さんと、「手に職をつけて、社長になるのが夢でした」と話す新田裕希さんは、小学生からずっと同じ学校に通う幼なじみ。宮城県第二工業高等学校(仙台市)の定時制を卒業後に、仙台高等技術専門学校に進学し、塗装施工科でともに学んだ。

修了後は、それぞれ別の塗装会社に就職した2人。職場になじめず1年で辞めてしまった阿部さんを新田さんが誘ったという。

「高等技術専門学校で学んだことで、仕事のイメージをつかむことができた」と阿部さん。新田さんも、「修了後も同じ業界で働く同期生とのネットワークが生かせる」と続けた。

「いつか独立して自分の腕一本で食べていきたい」。苦楽をともに歩んできた2人は、これからも同じ目標に向かって切磋琢磨する。

有限会社ティーケー塗装
 仙台市宮城野区岩切字山神北 74-13
 022-255-6274
<http://tk-tosou.com/>



仙台高等技術専門学校

道具の使い方から作業の心構えまで
1年かけて建築塗装の基礎基本を学ぶ

修了生はほとんどが塗装会社に就職
技術と経験を蓄積して独立も可能

「塗装施工科」は、建築塗装の技術を専門的に学ぶことができる全国でも珍しい訓練科です。道具の取り扱い、名前を覚えるところから始め、塗料が付着してはいけない部分をビニールなどで覆う養生の方法についても学びます。このほかにも、塗る前に塗装面を整える下地の調整や仕事に必要な心構え、社会人としての基本的マナーなど、「塗り」の作業以外のスキルも身に付けていきます。

「塗り」については、ハケやローラーを使った塗装やスプレーガンを使った塗装を学びます。また、校舎の壁や天井、外壁などを使って実践しながらの訓練も行っています。

同訓練科は、業界団体とのつながりも強く、現場見学会や塗装ボランティア活動などの取組を通して、現場で活躍しているプロの職人と交流することができます。

修了後は、ほとんどが塗装会社に就職し、一人前の職人を目指します。経験と技術・営業スキルを兼ね備えれば独立も可能です。独立のための初期投資が比較的少ないのも建築塗装の魅力です。

内装・外装問わず、建築塗装は仕事の成果が表に現れるので、やりがいと達成感を得やすい仕事です。また、建物の新築・リフォームだけではなく、ビルなどの定期的なメンテナンスの仕事もあるため、建物がある限り塗装の仕事がなくなる心配はありません。

同校は、2年課程の機械エンジニア科、自動車整備科、電子制御システム科と、1年課程の電気科、設備工事科、建築製図科、塗装施工科、広告看板科、6カ月課程の左官科、造園科の合計10科の訓練科を設置しており、幅広い業界の担い手を育成していることが特徴です。



①スプレーガンを使った塗装について学ぶ、塗装施工科の訓練生 ②校舎の廊下の壁を塗装する訓練生。実践を通してスキルを磨く

宮城県立 仙台高等技術専門学校

仙台市宮城野区田子 1-4-1
 TEL 022-258-1151
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sd-kougi/>



オープンキャンパスをはじめとする
 学校行事の様子は
 Facebook ページでもご覧下さい

白石高等技術専門学校

高度化された電気通信システムに
 幅広く適応できる技能者を育成

日々進化する情報社会に必要な不可欠な
 通信工事のスペシャリストとして活躍

「通信システムエンジニア科」では、有線ネットワークシステムの構築や、無線リーダーの操作、通信機器の接続など、情報通信分野における有線・無線に対応した技術操作・メンテナンスに必要な知識・技能について2年間学びます。

同校は、総務省から「第一級陸上特殊無線技士」の養成施設の認定を受けており、修了と同時に同資格を取得することができます。第一級陸上特殊無線技士は、陸上にある無線局で無線設備の技術的な操作を行うための資格で、法令によって有資格者だけが特定の業務を行うことができますと定められている「業務独占資格」の一つです。このほか、電気通信工事・情報配線施工・電気工事に必要な資格取得も目指し、業界の多様なニーズに応える人材を育成します。

携帯電話や無線LANの普及など、通信インフラは日々進化しており、通信業界は常に新しい人材を求めています。こうした背景もあって、ここ数年、同訓練科の就職内定率は100%を誇り、夏過ぎにはほとんどの訓練生の就職先が決まっています。専門性の高い知識や技能、業務独占資格を生かして、大手電力会社や通信会社の関連会社で活躍している修了生もいます。

同校では、ソフトウェア開発を担うプログラマーやシステムエンジニア(SE)などの育成を行う2年課程の「プログラムエンジニア科」もあります。

どちらの訓練科も、情報通信工事業界やIT業界で働いていたスペシャリストが指導にあたり、訓練生は現場で求められる最新の知識や技能を身に付けることができます。



①無線リーダーの操作方法について学ぶ、通信システムエンジニア科の訓練生 ②電話交換機の仕組みを学ぶ。実習を通して電気通信の幅広い知識を習得する

宮城県立 白石高等技術専門学校

白石市白川津田字新寺前 5-1
 TEL 0224-35-1511
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/srkogsn/>



通信システムエンジニア科修了 (2004年)

なんじょう まさひろ
南條 真大さん
 東北インテリジェント通信株式会社 (仙台市)

「情報通信の知識を身に付けて、能力の幅を広げたい」。古川工業高等学校(大崎市)の電気科(当時)で学んだ南條真大さんは、卒業後に白石高等技術専門学校に進んだ。

修了後に、自社の光ファイバーネットワークで法人や自治体などへ通信サービスを提供する東北インテリジェント通信株式会社へ就職し、技術部門で情報通信ネットワークの構築や運用・保守業務を経験。現在は、本社企画部門で会社の経営戦略に係る仕事に携わっている。

「これまで様々な環境で幅広い分野の仕事に携わることができて充実しています。これも、白石校で学んだ専門的な知識、第一級陸上特殊無線技士の資格取得の結果だと思っています」

同社では、南條さんのほかにも2人の修了生が活躍している。「ここは、いろいろなチャレンジができる会社。後輩たちのこれからの成長が楽しみです」と目を細めた。

東北インテリジェント通信株式会社

仙台市青葉区一番町 3-7-1 電力ビル 2F
 022-799-4201
<https://www.tohknet.co.jp/>

